

利用範囲が広がった木質油吸着材

梅原 勝雄

北海道森林組合連合会（以下道森連と称す）では、袋詰めした木質油吸着材を、「もりの木太郎」の商品名で販売しています。

この製品は、水を吸わず、吸着材1g当たりの油の吸着量が市販の他の吸着材の2～3倍であることに加え、焼却しても有害物質が排出されないなどの利点があります。製品1枚はA重油で約3.3kgを速く吸着します。

道森連では、平成11年2月8日までに、5万枚を自治体や民間企業の工場に出荷しました。また、道内の臨海12支庁にも納入しました。

「もりの木太郎」は海の油漏れ処理用に開発し、運輸省の「排出油防除資材」としての型式承認も受けています。今では河川や道路での油漏れ事故、工場の機械から漏れた油の吸着、食堂排水に浮く油の処理などの用途にも使われています。この製品はエコマーク商品と優良道産品に認定されました。

道森連では、河川用に「もりの木太郎」をワンタッチで長くつなぎ、兩岸に渡して油を吸着するオイルフェ

ンス的なネットも商品化しています。

このネットは平成10年9月に渡島支庁管内の大沼に流れ込む川での油の除去に使われました。河川工事では重機から油が流れ出すことがあります。さらに、泥炭地から油が出ます。このような場合にも「もりの木太郎」のネットが活躍します。

また、道森連では、一般家庭用の廃油処理マットとして「もりのキュー太郎」も商品化しています。これにポリ袋を組み合わせることで、手を汚さずに、油吸着材を処理することもできます。

（林産試験場 物性利用科）



写真 実用化された製品